

さいたま市の新時代に向けて ～運命の10年から **シンカ** の10年へ～

令和6年度施政方針

清水勇人市長は、令和6年市議会2月定例会で施政方針演説を行い、市政運営の基本的な考え方や主要な施策などについて説明しました。



さいたま市長
清水勇人

令和6年度は、コロナ禍を乗り越え、新たな一歩を踏み出し、「さいたま市の新時代」を切り拓いていく年です。本市の人口は、2035年頃にピークを迎えると予想されています。将来にわたって成長し続けるためには、人口減少を迎えるまでの期間が非常に重要です。人口のピークを迎えるまでの間を「シンカの10年」とし、「選ばれる都市」としてシンカし続けていかななくてはなりません。市民の皆さんとともに力を合わせ、着実に歩みを進めてまいります。

市政運営の基本的な考え方

- POINT 01 **選ばれる都市として、新たなさいたま市の創造**
- POINT 02 **誰一人取り残さず、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現**
- POINT 03 **真に災害に強いレジリエント[※]シティの実現**
※レジリエント…強くてしなやかなさま、回復力・弾力があるさま
- POINT 04 **新たな時代に対応する市役所の創造**



施政方針の全文については、市ホームページをご覧ください。

令和6年度当初予算額の内訳

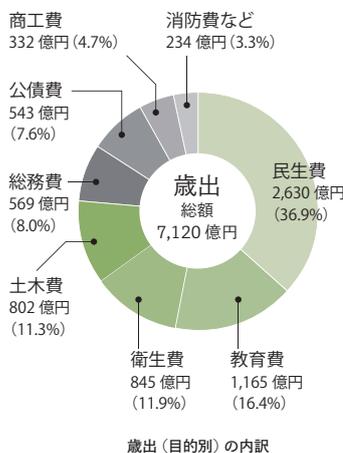
市民一人あたりの予算は
約53万円です

※一般会計予算7,120億円を、令和6年3月1日現在の住民基本台帳登録人口134万4,703人で試算した金額です。

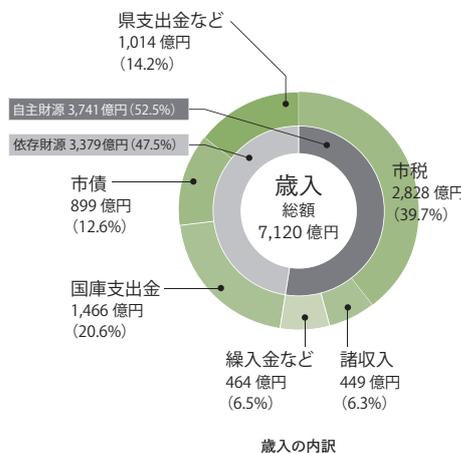
| | |
|---------|---|
| 全会計合計 | 1兆1,816億円 (+4.7%) |
| 一般会計 | 7,120億円 (+6.4%) 福祉、教育、医療、道路や公園の整備など、市のサービスを行うための会計 |
| 特別会計 | 3,355億円 (+3.4%) 国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別される事業の会計 |
| 水道事業会計 | 513億円 (▲0.4%) |
| 病院事業会計 | 328億円 (▲2.5%) |
| 下水道事業会計 | 500億円 (▲0.4%) |

※ ()内は前年度比です。

一般会計の内訳



※ ()内は構成比
※金額は、1億円未満を四捨五入し、端数を調整しております。
構成比は、区分ごとに小数点1桁未満を四捨五入しているため、各数値の合計が一致しない場合があります。



詳しくは、財政課へ。☎ 829・1153 ☎ 829・1974



本市の予算をわかりやすくまとめた資料を毎年市ホームページで公開中！過去の予算も確認できます。

令和6年度当初予算編成にあたり重視した4つの柱

令和6年度当初予算については、選ばれる都市として、本市の新時代へのシカシに取り組む予算として編成しました。予算編成にあたって重視した4つの柱に沿って、令和6年度の主な事業を紹介します。

新時代を切り拓くさいたまらしさのシカシの深化

コロナ禍を乗り越えた新たなステージ、21世紀半ばを見据えた「さいたま市の新時代」に向けて、新たなニーズを捉え、本市の持つ魅力の深化に取り組んでいきます。



主な事業

- ・新庁舎の整備及びさいたま新都心のにぎわい創出 2億1,975万円
- ・現庁舎地利活用の検討及び浦和駅周辺地区のまちづくりの推進 4,360万円
- ・浦和駅西口南高砂地区市街地再開発の推進 81億2,688万円
- ・大宮駅東口公共施設再編と大宮駅東口大門町3丁目中地区市街地再開発の推進 9,198万円
- ・地下鉄7号線の延伸及び浦和美園～岩槻地域のまちづくりの推進 1億4,471万円
- ・「さいたまスポーツシュレ」の活用推進 5,983万円

誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現

社会経済状況が大きく変化し続けるなか、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。



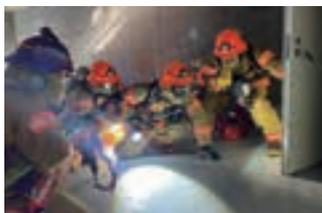
主な事業

- ・大学等進学「夢」支援と低所得の子育て家庭児童進学支援 1,488万円
- ・こども誰でも通園制度（仮称）の試行的実施 4,696万円
- ・認知症フレンドリーまちづくりセンターの設置・運営 1億4,254万円
- ・高齢者等の移動支援の充実 4,361万円
- ・発達障害者地域支援マネジャーの配置による地域支援体制の強化 1,252万円
- ・アピアランスケア*支援事業の創設 1,807万円

*アピアランスケア…がんやがんの治療に起因する外見の変化による苦痛を軽減するケア

激甚化する自然災害への対策強化

切迫性が高まる首都直下地震や激甚化する自然災害への対策として、都市・生活インフラの耐震性の確保や、治水対策などを推進するとともに、地域の防災力の向上や消防力の強化に取り組めます。



主な事業

- ・流域治水対策としての貯留施設等整備の推進 4億8,813万円
- ・自主防災組織の育成支援と防災訓練事業を通じた災害対応力の更なる強化 1億5,867万円
- ・市消防力整備計画に基づく消防力等の体制強化 4億8,366万円
- ・救急自動車への自動心臓マッサージ器の整備 781万円

DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造

多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、全庁横断的にDXを推進していきます。また、多様化・複雑化する行政課題に柔軟に対応するため、公民学共創を推進し、質の高い公共サービスの提供を目指します。



主な事業

- ・窓口手続のオンライン化拡充 2,288万円
- ・キャッシュレス決済の対象拡大 1億1,581万円
- ・働きやすい職場環境整備の推進 2億2,427万円

特に重視した取り組み

子ども・子育て関連施策の充実

各ライフステージに合わせた切れ目ない支援を実施することで、安心して子育てできる環境づくりを推進し、「子育て楽しいさいたま市」の実現を目指します。

主な事業

- ・子育て支援医療費助成の高校生世代への拡大 71億5,339万円
- ・放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型事業となる「放課後子ども居場所事業」のモデル実施 9,019万円
- ・様々な課題を抱える子どもに対する学習機会と居場所づくりへの支援の拡充 1億4,912万円

ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み

脱炭素ドミノ*の先導役として、先進的な取組を実施するとともに、本市の各施策・事業における温室効果ガス削減に向けた取組を見える化するなど、行政が率先して取り組み、脱炭素の加速化を図ります。

主な事業

- ・ゼロカーボンシティ実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大 3億2,791万円
- ・スマートシティさいたまモデルの推進強化 5,474万円

*脱炭素ドミノ…脱炭素に向けた取組を地域が主体となって行い、その取組が全国の各地域に広がること

DXの推進に資する取り組み

質の高い市役所の創造と市民満足度向上に向け、「さいたまデジタル八策」に基づき、全庁横断的にDXの取組を一層進め、市民サービスの向上及び業務の効率化等を強力に推進していきます。

主な事業

- ・「書かない窓口」の西区役所への先行導入 4,639万円
- ・デジタル地域通貨・市民アプリの導入 11億4,828万円
- ・自治会電子回覧板アプリの本格導入 342万円

上質な生活都市 東日本の中枢都市 の実現に向けて

総合振興計画が掲げる「上質な生活都市」と「東日本の中枢都市」
2つの将来都市像の実現に向けた取り組みとして、令和6年度の主な事業を紹介します。

重点戦略1 | 「さいたま」の5つの魅力を生かして、成長・発展する戦略

先進技術で豊かな自然と共存する 環境未来都市の創造

- | | | |
|----------|------------------------|---------|
| 主な 事業 | ・市有施設への再生可能エネルギー設備等の導入 | 2,008万円 |
| | ・E-KIZUNA Projectの推進 | 6,960万円 |

市有施設に再生可能エネルギー設備等の導入を推進することで、温室効果ガス排出量の削減と、災害に強い持続可能なまちづくりを推進します。また、次世代の自動車の普及を促進するため、「E-KIZUNA Project」を引き続き推進します。



一人ひとりが“健幸”を実感できる スマートウエルネスシティの創造

- | | | |
|----------|------------------------|---------|
| 主な 事業 | ・運動習慣の獲得に向けた健康マイレージの推進 | 4,733万円 |
| | ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 | 4,993万円 |

さいたま市健康マイレージにより、楽しみながら歩くことを中心とした市民の継続的な健康づくりを支援します。また、医療・介護のデータから高齢者の健康状態を把握し、課題がある方やフレイル予防が必要な方などに対する個別の保健指導などを実施します。



笑顔あふれる日本一の スポーツ先進都市の創造

- | | | |
|----------|---------------|-----------|
| 主な 事業 | ・アーバンスポーツの活性化 | 1,294万円 |
| | ・ランニングイベントの開催 | 2億9,687万円 |

アーバンスポーツができる場所を維持管理するとともに、初心者や親子向けの体験機会を提供します。また、市民のスポーツに対する意欲・関心を高め、多くの市民が楽しめるフルマラソンを含むランニングイベントを、引き続き開催します。



子どもたちの未来を拓く 日本一の教育都市の創造

- | | | |
|----------|--------------------------------|------------|
| 主な 事業 | ・小学校における35人学級の推進 | 5億5,311万円 |
| | ・児童生徒用タブレットの管理と教育データ可視化システムの運用 | 15億1,214万円 |

校務と学習に関するデータを集約し可視化・分析するためのシステム「スクールダッシュボード」を導入し、個別最適な学びの実現を目指すとともに、教員の働き方改革を推進します。また、市立小学校の35人学級を推進するため、教育環境の整備を行います。



ヒト・モノ・情報呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造

- | | | |
|----------|-----------------|------------|
| 主な 事業 | ・新大宮上尾道路等の整備促進 | 43億3,729万円 |
| | ・地域資源を生かした観光の振興 | 2,219万円 |
| | ・企業立地の促進 | 3億5,512万円 |

広域道路ネットワークを構築するため、新大宮上尾道路等の整備を促進します。また、国内外の観光客の誘客促進を図るため、観光資源を活用したプロモーションや市内周遊イベントを実施します。加えて、企業誘致や産業集積拠点の整備を実施するとともに、新たな産業集積拠点の候補となる地区の調査及び検討を行います。

重点戦略2 | 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりを進める戦略

子どもから高齢者まで、あらゆる世代が輝けるまちづくり

主な事業 ・子育て世帯の負担を軽減するための支援体制の強化 806万円
 ・ケアラー・ヤングケアラーへの支援の充実 6,272万円

子育てヘルパー派遣事業の利用日数拡大やファミリー・サポート・センター事業の助成対象拡大など、子育て家庭の更なる負担軽減を図ります。また、ケアラー等からの電話等の相談対応、周知啓発の強化など、ケアラー・ヤングケアラーへの支援策強化に取り組みます。



激動する新時代に「未来技術」で躍動する地域産業づくり

主な事業 ・中小企業の生産性・付加価値向上を通じた成長促進支援 3億2,475万円
 ・地場産農産物の流通・消費拡大 907万円

市内中小企業のDX推進に向けた支援を行うなど、生産性や付加価値の向上を支援します。また、地場産農産物の流通や消費拡大に向けて、環境と調和のとれた持続性の高い農業生産活動への支援、情報発信や販売促進イベントを実施します。



災害に強く、市民と共につくる安全・安心なまちづくり

主な事業 ・消防団の充実強化による地域防災力の向上 4億2,738万円
 ・わがまちカメラ戦略的整備・活用事業 1,302万円

人口増加に伴う消防需要に対応するため、消防分団車庫新設に向けて取り組むなど、消防団の充実強化に取り組みます。また、駅周辺への防犯カメラの設置や自治会による防犯カメラの設置支援など、「わがまちカメラ」の戦略的な整備・活用を推進します。



環境に配慮したサステナブル[※]で快適な暮らしの実現

主な事業 ・新規リサイクルの実証実験等の実施 2,128万円
 ・プラスチックリサイクルの拡大 6,869万円

循環型社会を実現するため、家庭から排出される木くずのリサイクルの導入に向けた実証実験を行うほか、本年10月から容器包装プラスチックリサイクルを拡大するなど、3R[※]に向けた取り組みを推進します。



※サステナブル…持続可能なこと
 ※3R…リデュース、リユース、リサイクルの3つのR（頭文字）の総称

絆で支え合い、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

主な事業 ・自治会への加入促進 342万円
 ・パーキング・パーミット制度の推進 418万円

自治会活動の活性化に向けた支援を行います。また、令和5年11月から施行されたパーキング・パーミット制度（埼玉県思いやり駐車場制度）に係る周知啓発を行い、駐車施設の適正利用を促進します。



質の高い都市経営の実現

主な事業 ・個人版ふるさと納税の受入拡大 3億8,647万円
 ・学校給食費の公会計化^{*} 58億1,776万円

個人版ふるさと納税の受入拡大に向け、返礼品を更に拡充するとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、受入拡大を目指します。また、学校給食費の公会計化により、保護者の方々の利便性向上、学校職員の負担軽減を図ります。



※学校給食費の公会計化…学校給食費を市の予算に計上し、徴収・管理していく方法

今月の表紙

さいたまの多面性をひとつひとつ育てていきます



市では誰一人取り残さず、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現を目指しています。



市報さいたまの感想を「#市報さいたま」をつけてX(旧Twitter)・Instagramで投稿してください！市ホームページやはがき（〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課）でもお待ちしております。